



いずみざき

平成26年  
11月1日  
発行

No.22

# 議会だより



輝く未来を



子ども達へ



## 目次

2～4ページ… 議会報告

11ページ…… 議会インフォメーション

5～10ページ… 一般質問

12ページ…… 活動報告・編集後記

〔表紙：泉崎中学校〕

# 平成26年 第3回9月定例会報告

会 期：平成26年9月4日(木)  
 ～9月12日(金)

議 案：認定4件、報告3件、議案11件  
 一般質問：9月9日(火) 6名



議案番号	提出議案 / 概要	可否
認定第 1号	<p>平成25年度泉崎村歳入歳出決算の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一般会計 歳入総額62億9,823万9,802円、歳出総額61億6,115万7,234円で、実質収支1億3,708万1,568円の黒字決算となるもの。</li> <li>○国民健康保険特別会計 歳入総額8億1,117万1,049円、歳出総額7億5,924万1,205円で、実質収支5,192万9,844円の黒字決算となるもの。</li> <li>○介護保険特別会計 歳入総額4億5,453万3,646円、歳出総額4億3,926万3,240円で、実質収支1,527万406円の黒字決算となるもの。</li> <li>○後期高齢者医療特別会計 歳入総額5,204万2,863円、歳出総額4,415万3,990円で、実質収支788万8,873円の黒字決算となるもの。</li> <li>○介護老人保健施設特別会計 歳入総額39万7,120円、歳出総額38万3,880円で実質収支1万3,240円の黒字決算となるもの。</li> <li>○流通業施設用地造成事業特別会計 歳入総額3億5,800万円、歳出総額1億7,149万8,798円で、繰越財源が1億8,650万1千円となっているので、実質収支202円の黒字決算となるもの。</li> </ul>	認定
認定第 2号	<p>平成25年度泉崎村水道事業会計決算の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○収益的収益2億7,189万6,022円、収益的支出2億4,345万5,474円、資本的収入923万550円、資本的支出8,881万1,255円であり、損益計算においては2,829万83円の純利益となるもの。</li> </ul>	認定
認定第 3号	<p>平成25年度泉崎村工業用地造成事業会計決算の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○収益的収益1億9,464万6,320円、収益的支出3億1,700万7,556円、資本的収入0円、資本的支出1億9,127万855円であり、損益計算においては1億2,236万1,236円の純損失となるもの。</li> </ul>	認定
認定第 4号	<p>平成25年度泉崎村住宅用地造成事業会計決算の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○収益的収益1億9,553万5,089円、収益的支出1億7,563万7,462円、資本的収入8,567万2千円、資本的支出1億6,778万5,639円であり、損益計算においては1,989万7,627円の純利益となるもの。</li> </ul>	認定
報告第 3号	<p>平成25年度決算に基づく健全化判断比率等の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実質公債比率 9.2% (前年度12.3%) - 3ヶ年平均 -</li> <li>将来負担比率 64.6% (前年度65.5%) - 単年度 -</li> </ul>	報告
報告第 4号	<p>村が資本金を出資している法人の経営状況に係る書類提出の件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成25年度の泉崎観光株式会社の第25期の経営状況の報告を受けたものです。</li> </ul>	報告

報告第 5 号	平成 2 5 年度白河地方土地開発公社の経営状況に係る書類提出の件 ○地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成25年度の白河地方都市開発公社の経営状況の報告を受けたもの。	報告
議案第 4 8 号	泉崎村定住促進条例の一部を改正する条例 ○平成26年 9 月30日付けをもって有効期限を迎えることから、引き続き販売を促進させるため、更に6 カ月延長をする。	可決
議案第 4 9 号	泉崎村いじめ等防止対策委員会設置条例 ○学校におけるいじめの問題等に対応するため、いじめ防止対策推進法に規定する教育委員会の附属機関として泉崎村いじめ等防止対策委員会を設置するため条例を制定するもの。	可決
議案第 5 0 号	泉崎村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ○泉崎村いじめ等防止対策委員の報酬を規定するため所要の改正を行うもの。	可決
議案第 5 1 号	泉崎村地域開発事業に係る土地売却に伴う精算について 公営企業における資産処分に伴う、精算を行うため。	可決
議案第 5 2 号	平成 2 6 年度泉崎村一般会計補正予算 (第 3 号) ○歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,946万 7 千円を増額し、歳入歳出予算の総額を 8 億2,084万 4 千円とするもの。	可決
議案第 5 3 号	平成 2 6 年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号) ○歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億8,121万 3 千円を増額し、歳入歳出の総額を8億2,084万 4 千円とするもの。	可決
議案第 5 4 号	平成 2 6 年度泉崎村後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号) ○歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ94万円を増額し、歳入歳出の総額を4,328万 7 千円とするもの。	可決
議案第 5 5 号	平成 2 6 年度泉崎村介護保険特別会計補正予算 (第 1 号) ○歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,026万 8 千円を減額し、歳入歳出予算の総額を4億5,150万 3 千円とするもの。	可決
議案第 5 6 号	平成 2 6 年度泉崎村工業用地造成事業会計補正予算 (第 1 号) ○資本的収入で一般会計からの長期貸付金償還金額1億 9 千万円を計上し、資本的収入で出資金償還金1億9,174万 5 千円、一般会計納付金4万 4 千円を増額補正するもの。	可決
議案第 5 7 号	平成 2 6 年度泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算 (第 1 号) ○収益的収入で一般会計からの補助金2,073万 7 千円を増額、収益的支出で人件費の調整や販売促進奨励金など一般管理費2,193万 3 千円を増額、過年度損益修正損119万 6 千円の減額、資本的収入で一般会計長期貸付金償還7,500万円、資本的支出で一般会計出資金償還金4,141万 8 千円、納付金1,989万 9 千円を総額補正するもの。	可決
議案第 5 8 号	泉崎村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて ○任期満了に伴い、泉崎村教育委員会委員の任命に同意したものです。 住所 泉崎村大字愛宕山 3 0 番地 氏名 草野 太郎	同意

請願書：「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める請願書  
提出者：福島県教職員組合 中央執行委員長 角田政志氏

# 平成25年度決算を認定

村では自主的財政再建計画に基づき、人件費の抑制など歳出削減を図る一方で、福島県市町村振興基金財政健全化事業枠を繰上償還により完済するなど、財政の健全化に向けた努力の跡が認められました。

今後、高齢化社会の進展などによる社会福祉費の増大、特別会計への繰出金、泉崎村役場庁舎建設や泉崎駅東口開発事業などの負担が見込まれる部分もあることから、長期的な視点に立って健全なる財政運営に、より一層努められるよう望むものであります。

## 監査委員 意見

## 平成25年度 事業内容 (抜粋)

### ○防災情報通信設備整備事業 680万4千円

Jアラートによる情報伝達手段を多重化、多様化することにより、災害等発生時の情報伝達体制の強化を図る。



### ○幼稚園遊具更新事業 2,796万5,916円

遊具の更新することで外遊びの機会の増加を図る。



### ○第二小学校太陽光発電設置工事 2,782万5千円

クリーンエネルギーの環境教育のため太陽光発電装置及び蓄電池設備設置



## 平成26年度第2回7月臨時報告

会期：平成26年7月31日(木)

議案：議案 1件

議案番号	提出議案 / 概要	可否
議案第47号	平成26年度泉崎村一般会計補正予算(第2号) ○役場庁舎の移転建設事業の経費、パークゴルフ施設整備に係る経費、児童運動広場整備事業に係る経費などを増額。また、役場庁舎建設基金積立金を減額し歳入歳出それぞれ65億5,382万6千円とするものです。	可決

### 「議会中継(録画)及び会議録検索システムが利用できます。」

\*会議の様子や会議の内容が記録されております。泉崎村のホームページからご覧ください。

泉崎村ホームページアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

◎映像閲覧延べ件数：映像 3,159件(月/60.8件) ◎会議録 2,518件(月/49.4件)



## 一般質問

### 鈴木盛利議員

一、役場庁舎建設の現在から完成までの流れについて

二、3月定例会に提案した除雪処分場所と管理者との協議について

三、自然災害について

鈴木 冒頭に先月の広島豪雨の為、72名が亡くなり、未だ2名の方が発見されていないという大きな災害がありました。

犠牲になった方々のご冥福をお祈り申しあげ、まだ不明の方の早い発見を望んでおります。

また、重大な被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

それではまず、質問通告事項の要旨、庁舎の概要面積と構造について。

今後の各種手続き申請、設計・工事契約、工事工程等の流れについて、と言う事で提出してりましたが、広報⑨の見開きページに大半の事が記載され、村民の方々に配布されておりますので、次の事を提案しながら考えを伺いたい。

庁舎建設工事の入札方法は。

1月～3月の降雪時季の造成工事の事です、今年の豪雪のような事により工事の遅れが考えられるので

出来るだけ前倒しの作業できないか。

現在教育、福祉グループ等が分散されているが事務手続きは庁舎で出来るようにしていただきたい。

副村長 入札方法は一般競争入札を考えております。

造成工事時季は許認可事務手続き段階から前倒しながら早く着手したいと考えております。

各グループ配置などを考慮しながら検討委員会協議して善処したいと考えております。

鈴木 三月定例会で、除雪後の処分場を東地区は屠胴塚池、西地区は泉川河川敷を検討してはと提案しましたが、その後管理者との話し合いと結果を伺いたい。

事業グループ長 二月の豪雪を教訓に県南建設事務所を中心に協議会が結成されました、当村は提案とありの泉川河川敷と屠胴塚池の

2箇所が雪捨て場として位置づけられました。

鈴木 降雪・捨場使用開始前までに使用方法と注意事項を定めて広報等で周知徹底し使用時の重大事故(土手・堤防からの転倒・転落)等の無いように配慮を願う。

鈴木 洪水被害予想箇所数、土砂崩れ予想箇所数、ハザードマップは出来ているか伺いたい。

事業グループ長 お配りした資料(マップⅡ地図)のとおり、洪水被害予想箇所は阿武隈川沿いの一箇所(全域農地)、土砂崩れ予想箇所は土石流危険箇所が5箇所、急傾斜危険箇所が12箇所、17箇所地滑り危険箇所はありません。

#### 住民生活環境グループ長

ハザードマップの作成公表は現在ありませんが、先ほど事業G長がお配りした資料(マップ)に今後さらに情報収集に努め、新たな

情報を加えるなどし、精度の高いハザードマップを作成します。

県南地方総合防災訓練が平成27年度に当村を会場に開催されます、これを契機としてこの時季までには完成したいと考えております。

村長 最初の質問ですが、指摘の通り冬場の造成工事、これがネックになると思いますので、前倒しの許認可等をお願いしていきます。

雪の捨て場の質問ですが、良い提案をいただきました。これから使用時期までに使用方法などを周知していきたいと考えております。

自然災害ですが、計画が行政だけが分かっている意味がありません。

地域住民の方々と行政との考えを密にして、高精度のハザードマップを作成して危険箇所住民との避難訓練を進めていきたいと考えております。

# 一般質問

鈴木清美議員

## 一、除染について

## 二、教育について



鈴木 国の除染計画が変わったような事ですが、具体的に説明していただきたい。

除染対グループ長 国が各自治体及び住民に対して正しく伝えることが出来なかった点として個人の被爆線量を出来る限り低減の手段の一つとして、個人線量計を活用し、住民一人一人の不安解消のため、正確に伝えるリスクコミュニケーションの充実を掲げております。

あくまでも4市と環境省による勉強会であり、各自治体において参考となる情報提供であり、現在行っている除染基準や方法を変更するものではないとの回答を得ております。本村は内容の変更は考えておりません。

鈴木 説明の中で、0.23が基準でないと説明しましたが、面的除染とスポット的な除染がどこで区別がされるのか。

除染対策グループ長 0.23マイクロシーベルトというのは除染の目標ではなく、汚染状況重点調査地域指定の基準である。

鈴木 本来なら、全部が0.23でも0.22でも面的除染をやるべきという方法もある

のでは。国の方針が0.23だが、本来なら0.23以下でも面的除染の方を重要視して村民のためにやるべきか今の説明の中で感じましたので検討してください。

鈴木 文科省から全国の学力テストの結果が公表されましたが、今回、村では公表しないと決めた理由は、私は、昨年までの学力テストの結果を見ているので前年度までのに比べ今年度発表に對しどの様な違いがあるのか。

教育長 調査で測定できるのは学力特定の一部である。学校数が3校あるので学校の序列化を招き、地域の偏見を助長する。3校とも平均正答率を上回っている年

度もあり、少し低い年度もあり、全体的に断定が出来ません。

鈴木 泉崎村の子ども達は十分に公表できる段階にあるのでは。ある学校では陶芸教室をした時に「水が飲める物が出来るんですか。」

といった子どもがいたという事です。実際に出来上がった時に大変喜んで、そのマグカップを使っています。その子が大学に入っ

てから、陶芸の先生に電話があり、このことを子ども達に教えたいことから、学校の先生になっていきます。つまり継続すると言うことが大変大事なことであるということなんです。

教育長 継続が色んな用件が加味されて学力の向上に結びついていっているのかと聞いています。

鈴木 学力日本一の秋田県東成瀬村に研修に行った結果、感想をどの様に思ったのか。

教育長 泉崎村が東成瀬村と比べて非常に行政として低下していることはありませんが、ここは小・中学校が非常に連携がされている。また、こちらの人達の連携が巧みであると感じた。

鈴木 感想文の中に簡単にできるような事が書いてある。爺ちゃん婆ちゃんや家族みんな子ども達を教育する考えを持っている。これならば十分に泉崎村の中

でも予算を取らなくても出来ます。

教育長 学校長は、自分の学校で取り入れ、保護者会の全体会の中で話をしてい

たり、1小・2小・中学校でやっている」と認識している。

鈴木 校長先生と話す機会もあると思いますので、一人の議員が話していたと伝えてください。それと、T式と言ってますか、24年度から実際に取り入れ、どの様な形でやっているのか。

教育長 担当教師をティーンとして、村から派遣した非常勤講師をティーンとして学寮向上の対策の一つとして実施しました。

また、教育委員会主催のプチスクールを開校しています。小学校の授業にも入っております。小学校での算数の学習が中学校で基礎とな

っている。小学校の算数から中学校の数学の接続が少しずつスムーズになればと期待している。

鈴木 十分に公表できる学力になっているので地盤もそろそろ出来てきていますので、泉崎の子ども達の学力を発表できる教育方針と決めてがんばっていただきたい。



# 一般質問

## 飛知和良子 議員

一、村内全体の仮置場の除染袋について

二、集中豪雨による土砂災害の対処について

飛知和 除染袋の劣化の心配であります。地域ごとの除染袋の点検、個人の住宅内に仮置きしているものの点検の状況を伺いたい。

除染グループ長 仮置場は踏瀬、太田川、中核工業団地、陸上競技場の4カ所に設置。踏瀬、中核工業団地、陸上競技場については、まだ運び込みを行っているので、除染組合に管理点検を指示し、村としても除染グループにおいて毎週一回巡回し、目視による点検を行っています。また、気象の状況により、その都度点検安全確認をしている。除染業務で使用している袋の劣化の要因の一番は紫外線劣化といわれている。現在、村で使用している袋は、ランニング型フレキシブルコンテナと耐候性大型土嚢があり、これらは日本フレキシブルコンテナ協会、耐候性大型土嚢協会において紫外線暴露といった試験を行っている。これを確認するた

め、試験結果表を添えて、承認願いの提出を求めている。更に、申請した物が実際に使用しているかの確認は、作業現場においてチェックを行っている。仮置場の保管に際しては、遮水シートで覆われていることから、直接紫外線に晒される事はない、耐用年数は更に伸びると考えている。自宅保管されているものについて、請け負った業者の方で仮置場に搬入されるまで管理し、完了とする。

飛知和 劣化については心配ないと課長から説明を聞き、安心しました。今後、管理点検、検査をお願いしたい。

飛知和 私事ではありますが、昭和61年8月10日の集中豪雨に裏山が崩れました。当時は100年に一度の集中豪雨と報道されました。現在は、地球温暖化によるゲリラ豪雨が度々襲ってきます。泉崎村も傾斜地の危険箇所が何件もあり、この場所で緊

急性の箇所があるのか。

事業グループ長 集中豪雨や警報が発令された時などは、待機職員で手分けをして危険箇所の見廻り、異常があった場合は、消防団や関係機関と連携をとって迅速に対応・対処する。土砂災害危険箇所についても、梅雨入り前に県庁の砂防課及び建設事務所並びに村と合同で毎年点検を実施している。危険度ランク1については、急傾斜地整備が終わり、次に2、3と整備をしていく。

飛知和 危険度ランクがあり、私の部落は危険傾斜地が5軒ないと当てはまらないという事でした。この件について、現在もこの採択基準は変わっていないのか。

事業グループ長 戸数5軒以上は現在も変わっていない。ランク2位になっているが事業の指定にはなっていない。危険箇所の見廻りや点検についてもことある毎にやる。

飛知和 先日、8月の大雨の時に民家の裏山の太い木が倒れ危なかった。山の持ち主も高齢化で中々山の手入れが出来ない状況である。非常に困っているので村長の見解を伺いたい。

村長 木野内山の集落は、軒数もあるので危険箇所があれば事業の管轄が県が殆どであるので、村も協議して行きたい。現在、工事を実施している田崎さんの所は、頻繁に災害が起きています。状況を含めてアピールも大事なので写真等を提示していただきたい。命を守る事が一番大事なので、我々も県に強く訴えて参りますが、近隣の数件の方々と十分に説明できるものを準備して欲しい。

飛知和 村長の話を聞いて少しは安心しました。個人でやるということは大変なことなので、私も今後写真を撮ったりするので配慮をお願いする。

# 一般質問

廣瀬英一議員

一、村除染事業進捗状況について伺う。

二、村庁舎新築について進捗状況を伺う。



廣瀬 村除染事業の進捗状況について伺う。

25年度、26年度の進捗状況であります。5年という期間の中でどの辺まで進んでいるのか、26年度の住宅除染完了に向けてどのような状況であるか伺う。

除染対策グループ長 現在25年度の繰越事業として、

8月末現在で、第二工区が、JR東側の泉崎地区。(契約件数462件、施工件数409件)

第三工区が、八雲神社を含む北平山地区。(契約件数463件、施工件数65件)

第四工区が、八雲神社を除く関和久地区。(契約件数416件、施工件数58件) 26年9月30日を期限として、作業を行っております。

仮置き場については、第二工区と第四工区で設置作業が進み、年内完了が可能です。第三工区については、設置場所がまだ決定していません。今後努力して進めてまいります。

廣瀬 住宅以外に26年度に発注の予定があるものを伺います。

除染対策グループ長 26年度事業につきましては、大規模事業所の除染と防火水槽除染。学校等の校庭表土除去土壌の運び出し。今後、準備が整い次第発注を行います。

廣瀬 学校等の土が運ばれるのであれば、時期と雪が降る前にと考えられるが、適正な時期に発注が間に合うのか、その確認だけで、除染の質問は終わります。

除染対策グループ長 出来れば、冬休みに完全に終わらせることが望ましいと考えておりますので、それに向けて努力してまいります。

廣瀬 村庁舎新築について進捗状況を伺う。

工程表が出てきましたのでそれに沿って進めれば住民の意見集約等も出来ると思います。議場の在り方など、内部に関しては、まだ

何も決まっていらない状況であるかと思いますが、議場の在り方については行政と立法の関係から、当然議会の意見集約も必要だと思っております。

その集約をして、意見を反映させる時間があるかどうか、それと議会としてどういう方針を出したらいいのかという、その話し合いの場、意見調整の場が持たれるのか、その辺を含めて伺います。

副村長 庁舎建設の中で、色々基本計画について構想の段階ですが、その中で議場の在り方につきましては、基本構想が出来ましたらたたき台として、議員の方々の意見を頂く為に全員協議会の中で、たたき台を示しながら、意見を取りまとめたいと思います。

最終的な基本設計につきましては、10月の半ば頃に終わらせないと実施設計に入っていけないことから、たたき台の構想が出来たら

すぐに議員の皆さまに全員協議会を開催していただき、その場で色々意見をお聞きして参りたいと考えております。

廣瀬 全て全員協議会の中で協議していくと、別に例えば委員会に委ねるとか、そうではなく全員協議会の中で時間をかけても行っていくことと理解してよろしいですか。

副村長 全員協議会の中で議員の方々の意見を集約しますと、お話をいたしました。が、その他に村関係の公的機関の中の代表者の中で、検討委員会を設置して参りますので、議員さんの意見、そして各、検討委員会での意見、それを集約していきたいと思っております。



# 一般質問

## 浅野一成議員



- 一、アスベスト水道管の交換の考えは如何か。
- 二、水道本管の漏水事故について。
- 三、公園モデル事業（関和久地区）のトイレの設置の考えは如何か。

浅野 一、水道管で石綿（アスベスト）管をどの位使用されているのか。二、漏水事故が見受けられるが五年間でどの位発生して、金額はいくらか。三、石綿管の交換の考えは如何か。四、石綿管は埋設して、新たに布設替えの工事は如何か。五、関平農協から第二小学校前までは石綿管であるが、工事の際、歩道が狭いので歩道を拡幅して、歩道、路肩に配管すれば、工期、コスト、通行止めもなく、通学路も広くなればと願うのですが伺いたい。

事業グループ長 村内の9路線に分布し、総延長4千200mです。漏水発生件数は25件で金額は50万です。石綿管のところからの漏水箇所が転移する現状です。

このため、石綿管部分の交換が一番の最善策と思っております。

布設替え工事は年次計画によりまして布設替え工事を予定して参りたいと考え

ております。議員がおっしゃったとおり、歩道・路肩等を検討し安価の方向で敷設工事をして参りたいと思っております。

27年度の予定ですが、詳細設計もなく、提示できない状態ですが、基本的としまして、歩道・路肩、そういうものがあれば十分利用して行き、また従来は布設するのに1m20の深さが必要でしたが、現在は管の材質等々が向上して、浅目布設60cmで安価に施工できるので基本で進めて参りたいと思います。

村長 歩道がないところは車道に埋めざるを得なかったが、浅くしても耐えられ、凍らない深さで埋設できるようにになりました。漏水事故による工事にも金がかかる、歩道であれば、そこに工事を計画したい。第二小学校前までのところ、私も若干狭い所があると記憶しています。今度事業を進めるときに、通学路の拡幅

も同時に進められれば一番効率的かなと考えますので予算の関係も、出来れば先ほどグループ長が言ったように補助事業があれば、次回27年度に計画があるとすれば歩道も一緒にやっていきたいと思えます。

浅野 農村公園モデル事業で雲月寺のところに設置された公園のトイレ、噴水が震災によって壊れ、その後撤去したままであるが、子供の遊び場として、老人のゲートボール場として部落にとって大切な公園なので、あった建物を復旧するようお願いしたい。

事業課長 震災後に当時の区長さんと協議の上、取り壊しております。現段階では設置計画はありませんが、今後、再設置につきましては、地元の要望を区長さんと協議しながら必要な物とすれば検討して参りたい。また、議員のおっしゃっているのは東日本大震災復興

交付金の残額と思われるかもしれませんが、それら等も財源として検討して参りたいと思えます。

総務グループ長 震災復興基金は、村に2億3,560万円配分され、残高1億2,000万については26年度に充当していますので残高確認をしながら、そちらの方に充当できるかどうか予算を確認しながら検討していきます。

村長 震災交付金につきましては、工事とか色々なところに使いたくないと言っているところでありまして、使い道を限定されているのか。その辺も含めて対応できるかを検討してまいりますけども。ちょっと約束は今のところ考えさせていたきたい。今まできちんと管理されていて、完全に老朽化したよというのであれば考えてみたいと思います。

# 一般質問

## 白石正雄議員

- 一、財政再建達成について
- 二、泉崎村の振興策について
- 三、役場庁舎建設について
- 四、除染の現状と今後の在り方について



白石 平成25年に13年かかった泉崎村の財政自主再建が終了し、これまでの財政再建の取り組みを総括し公表することは村の仕事、福岡県の赤池町でも財政再建中の夕張市でもホームページに掲載して公表している。また、財政自主再建達成記念式典を開催し、財政自主再建に協力しお世話になった村内の方々に、公式に御礼を申し上げることが必要ではないか。

村長 財政再建期間中、村民の皆様には我慢していただいた。村民には感謝申し上げたい。総括することは非常に大事。財政再建達成の経過は、今までもいろんな会合や行事に常に報告してきた。関係者に御礼もしてきた。今までの我々の報告で理解していただいていると考えている。財政再建記念式典については、財政再建がまだ完全には終わっていないと考えている。工業団地、ニュータウンの販売まだ残っており、基金も県内で下から二番目。県内の平均値ぐらいになれば再建になったと言えると思う。人件費の圧縮や退職金の積

み立てなどの課題も残っているが、これまでの泉崎村の努力は福島県でも認められている。借金がなくなったことで安心して企業立地が進むようしっかりとアピールしていきたい。

総務課長 財政再建達成については市町村振興基金完済後、平成25年10月25日に広報泉崎で村民に知らせた。10月24日に福島民報社、10月26日に福島民友社、朝日新聞に掲載された。11月13日には県知事、副知事、県市町村課を訪問し御礼を述べてきている。

白石 泉崎村第5次総合振興計画では、村営住宅地の販売と宅地造成の推進で、平成35年までに人口7,000人をめざすとされている。今後どう具体化するのか。長野県下條村を職員の研修場所としてきたが、その経験をどう村作りにかかし、魅力的な村をつくるのか。

村長 下條村については今後も大いに参考にしていきたい。村有地に賃貸住宅を建設し、若者に活用してもらうことも考えている。行政が住宅地を造成販売し人口増をはかるといのは、

時代遅れになっており、規制緩和で分譲地を民間の資金で造成し人口増につなげることを考えていきたい。福祉教育子育てに光を当て、予算も十分に配分することで魅力ある村としていきたい。

白石 庁舎建設計画では、9月末までに基本設計委託の資料作成を終了し、用地交渉も終了する。10月初旬には税務署協議や農振地区除外転用協議も終了予定。基本設計委託も8月中旬から入っているというが工程表通り進んでいるのか。8月に行われた住民説明会での状況と村民の意見。村民意見を反映できる期限はいつまでか。

副村長 6月25日と7月24日に議会全員協議会で説明、8月8日保健センターで区長、公民館長、自治組合長会議を開催、調査、建設に至る経過、建設場所、建設時期などについて説明した。駅東口開発との関連、建物の構造、敷地面積、場所や県内産材の使用などの質問があった。進捗は工程表通り進められている。用地については所有者全員の承諾

書をいただいた。基本設計はたたき台としての構想を作成中で、出来上がり次第、議会の意見を聴き、検討委員会でもまとめあげたい。村民の意見は10月の半ばまでに集約していきたい。

白石 環境省が8月1日出した報告書は、これまで除染の目標としてきた空間線量0.23マイクロシーベルトと平行して、個人被爆線量の基づいた除染にすべきだという報告書を出した。年間で1ミリシーベルトの被爆線量になれば、1時間あたりの空間線量は0.3から0.6マイクロシーベルトということになる。除染計画も大幅変更ということになってしまふ。村としての見解を伺う。

除染グループ長 福島市、郡山市、相馬市、伊達市と環境省で勉強会が行われ、その成果として除染復興を早める目的で中間報告が行われたもので、従来の除染方針を変えるものではないとの環境省回答を得ている。村としてこれまでの基準を変える予定はありません。

## 視察来庁 7月24日(木)

平田村議会 庁舎建設特別委員会

【視察内容】議場システム（録画配信システム、

会議録検索システム）



平田村庁舎の移転に伴い、泉崎村の情報公開のための議場システムについて、これまでの経緯、経費について説明をしました。他町村議会においても住民への積極的な情報開示への強い姿勢を感じました。

## 常任委員会報告

9月4日(木)



経済文教常任委員会

議会定例会初日、経済文教常任委員会に付託されました「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める請願書の件について定例会終了後、審議しました。審議の結果採択と決定致しました。

## 議会視察研修

9月25日(木)～26日(金)

○視察場所

- ・宮城県大和町役場
- ・宮城県利府町役場

泉崎村役場庁舎建設に向け、議会において宮城県の大和町、利府町の視察研修を行いました。

### 『大和町視察内容』

- ・役場庁舎建設における経過と概要について
- ・庁舎の見学について

大和町庁舎は、築4年と新しい庁舎で、1階ロビーに総合案内係、またワンストップサービスを基本として、総合窓口の設置をするなど、視察をとおりて住民の方々の利用のしやすさを考えた庁舎であると感じました。



大和町



### 『利府町視察内容』

- ・りふ議会だよりについて
- ・役場庁舎建設における経過と概要について

利府町では、4年連続で議会だよりが全国コンクールで入選し、親しまれる広報づくりを行っている、「りふ議会だより」について研修を行いました。分かりやすい紙面構成と編集でも勉強になるものでした。また、利府町庁舎も築12年と新しく、大きな住民の交流スペースのある庁舎でした。3年前の震災時には避難場所として使用されたと話伺いました。防災の面においても、役場庁舎が住民の重要な中心施設となる事をあらためて実感致しました。

実際に新しい庁舎施設の視察をして大変、参考になることが多く勉強になるものでした。今後とも執行者とともに、住民の方にとって利便性の良い、泉崎村役場庁舎建設に向け協議を重ねて参りたいと思います。



利府町



# 次期定例会のお知らせ！

## 12月4日(木)からの予定です。

一般質問は12月9日(火)予定

—— 傍聴にお越しく下さい。 ——

### 《 議 会 活 動 報 告 》

### 編集後記

#### 【6月】

- 3日 福島県町村議会議長会定期総会
- 8日 村内統一クローンアップ作戦
- 第32回議長杯ゲートボール大会
- 第64回地方植樹祭
- 10日 第2回6月定例会(一般質問)
- 12日 泉崎駅構内環境美化活動
- 13日 第2回6月定例会
- 15日 チャリティーカラオケ発表会
- 19日 ハケ代周辺環境対策委員会
- 20日 泉崎村農業委員会総会
- 22日 福島県消防協会白河支部幹部大会
- 25日 例月出納検査
- 27日 泉崎村議会全員協議会
- 28日 監査委員協議会総会
- 28日 第18回レシジョンコンテスト
- 【7月】
- 5日 民主党泉崎支部総会
- 8日 福島県町村議長会定期総会に基づく要請活動
- 10日 東西白河議員研修会
- 12日 事前打ち合わせ
- 12日 玄葉代議士在職20周年を祝う会
- 15日 一般国道4号4車線整備促進期成同盟会総会
- 16日 夏の交通事故防止テント村
- 平成26年度東西白河地方議会議員研修

#### 【8月】

- 17日 平成26年度泉崎村病害虫防除推進協議会
- 22日 泉崎村農業委員会総会
- 25日 会津田島祇園祭並びに交流会
- 例月出納検査
- 26日 福島県議長会理事・監事合同会議
- 27日 泉崎幼稚園ちびっこ夏祭り
- 27日 第39回福島県消防操法大会
- 29日 圏域市町村長並びに代表議長会議
- 5日 決算監査
- 6日 決算監査
- 7日 平成26年第3回白河地方市町村圏整備組合議会定例会
- 20日 泉崎村農業委員会総会
- 22日 東西白河地方町村議会議長会定例会
- 26日 例月出納検査
- 27日 福島県町村議会正副議長・事務局長研修会
- 28日 花いっぱいコンクール審査会
- 29日 市町村対抗軟式野球大会結団式
- 【9月】
- 1日 議会運営委員会
- 4日 松坂興産(株)竣工式
- 7日 第3回泉崎村議会定例会
- 7日 県南地方総合防災訓練

九月議会終了後の9月25・26日、泉崎村議会は宮城県大和町と利府町を、行政視察研修の為訪問。現在村で進められている役場庁舎建設構想の具体化のため、規模はだいぶ違うものの、村民の利便性の向上や労働環境の改善など、先進の地に学ぶことが多かった。

宮城県利府町では議会広報「りふ議会だより」の編集説明を受けた。昭和51年5月に創刊以来、今年六月議会で154号になる。平成23年の第25回町村議会広報全国コンクールで特別優秀賞をうけ、これ以後も全国ベストテンに入る広報活動を行っている。学ぶところの多い研修だった。

#### 編集・発行責任者

議長 中野目正治

#### 編集委員会

委員長 浅野 一成  
副委員長 白石 正雄  
委員 廣瀬 英一  
星 一  
中野目正治